



# 大学シーズマッチング in 日本大学

～多岐に渡る若手研究者の最新シーズを活用しませんか？～

大学が有する先進的なシーズと企業との連携を促進するための「大学シーズマッチング」を開催します。

今回は、数多くの学部を誇る“日本大学”の注目のシーズをご紹介します。日本大学は国内外の研究機関はもとより、国及び地方公共団体並びに産業界との積極的な連携・協力をすることにより、大学の研究活動の活性化、産官学連携の推進、新産業の創出を通じて、社会への貢献を図る活動を展開しています。



- 配信期間 令和8年2月17日（火）から令和8年3月5日（木）
- 受講方法 YouTubeを利用した視聴者限定配信です（事前の聴講申込が必要です）  
録画された講演を視聴いただきます。視聴時間は1講演10分～15分です。  
申し込みされた方へ、開催日の前日までに視聴用URLをお送りします。
- 申込期限 令和8年2月16日（月）16時まで
- このような企業の皆さんにおすすめです！
  - 日本大学を詳しく知りたい 講演内容に興味がある
  - 最新の研究を聞いてみたい 大学の研究内容を活かしたい

1講演の視聴も可能です。視聴後、個別相談を希望された方には、公社から面談等のご案内をします。ぜひ、日本大学の研究シーズをご視聴ください。

講演名	分野	講演テーマ
第1講演	商品開発	ブランドと配色の調和が企業価値を高める
第2講演	地域防災	ゲームで変わる？体験型の防災教育で地域連携をはかる
第3講演	都市交通	道路の利用の快適さを科学する
第4講演	光学素材	らせん光で実現する光暗号と偽造防止技術
第5講演	天然素材	循環経済をつくる！竹×樹脂の複合化技術
第6講演	医療	脂肪酸で見抜く！卵巣がん早期発見の新技術
第7講演	創薬	様々なバイオ技術を効率化する！DNAの上をすべて機能性ペプチド

## 受講申込書

企業名			住所	
受講者1	部門・役職名		氏名	
	T E L		E-mail	
受講者2	部門・役職名		氏名	
	T E L		E-mail	

申込方法 受講申込書に入力のうえ、メール (sangaku@saitama-j.or.jp) にてお送りいただくか、下記申込フォームからお申し込みください。

問合せ先 (公財)埼玉県産業振興公社 産学・知財支援グループ  
TEL 048-857-3901 E-mail sangaku@saitama-j.or.jp



申込フォーム

# 「大学シーズマッチング in 日本大学」講演内容

## 【商品開発】第1講演 「ブランドと配色の調和が企業価値を高める」

商学部 商業学科 准教授 河股 久司 氏

企業ロゴの「色」は、ブランドの印象形成に大きく影響します。本講演では、企業のブランドイメージとロゴの配色の適合性に関する研究成果を紹介します。色彩の観点からロゴを捉え、企業にあったロゴの配色の傾向を明らかにし、ブランドの立ち上げやリブランディング（再構築）に役立つ実践的なヒントを示します。

企業戦略のみならず自治体や地域などの非営利組織においても応用可能です。

■利用が期待される用途

- ①企業ブランディング／リブランディング支援 ②地域ブランド支援 ③広報・PR活動におけるイメージ戦略

## 【地域防災】第2講演 「ゲームで変わる？体験型の防災教育で地域連携をはかる」

危機管理学部 危機管理学科 准教授 宮脇 健 氏

南海トラフ地震や首都直下地震のような大規模災害が想定される中で、子ども世代への防災教育が重要になっています。

本講演では、小学生用に開発された「子ども版HUG（避難所運営ゲーム）」を活用した体験型の防災教育の効果についてご紹介します。この教育法は知識を伝えるだけでなく、他者への配慮や共助の意識を育てるこにもつながります。企業・行政・学校が連携することで地域の防災力をどう高められるかについても考察します。

■利用が期待される用途

- ①地域コミュニティ支援・CSR活動 ②防災関連サービス・研修事業 ③行政・自治体の防災教育

## 【都市交通】第3講演 「道路の利用の快適さを科学する」

理工学部 交通システム工学科 助教 青山 恵里 氏

本講演では、自動運転技術の進展がこれらの課題をどのように改善できるかを紹介します。また、高速道路で「渋滞ではなくても不便を感じる」というような状況に着目し、通行量だけでなく道路の使いやすさで評価する新しい視点を提案し、今後の道路設計や都市交通のあり方を考察します。

■利用が期待される用途

- ①道路設計・都市計画コンサルタント：道路評価や改善提案 ②自動車・自動運転関連産業：走行データ活用、自動運転制御パラメータの検討 ③高速道路会社・道路管理者：快適性重視の運用改善

## 【光学素材】第4講演 「らせん光で実現する光暗号と偽造防止技術」

生産工学部 応用分子化学科 助教 池下 雅広 氏

ナノ材料のキラル構造を利用して「右回り」「左回り」の円偏光を選択的に放出する材料の開発に取り組んでいます。この特性を活かすことで、立体的な映像表示や偽造防止に役立つセキュリティペイント、情報を秘匿する光暗号通信などへの応用が可能です。

本講演では、らせん状の光を自在に操る材料設計の最前線と、産業分野で期待される活用例をご紹介します。

■利用が期待される用途

- ①ディスプレイ・映像産業（3D表示、次世代ディスプレイ） ②セキュリティ・認証技術（偽造防止、防犯インク） ③化粧品・印刷業界（視覚効果、発色制御）

## 【天然素材】第5講演 「循環経済をつくる！竹×樹脂の複合化技術」

工学部 機械工学科 准教授 嶋田 慶太 氏

放置竹林問題の解決と地域資源の循環利用を目的に、竹粉末と熱可塑性樹脂を組み合わせた高機能ハイブリッド材料を開発しています。大気圧プラズマやレーザ処理で竹と樹脂の密着性を高め、軽量・高強度かつ環境対応型の部材を実現します。

日用品から自動車の内装品などへの応用に加え、行政の課題である竹林管理や環境負荷低減にも貢献できる新技術です。

■利用が期待される用途

- ①放置竹林問題 ②資源循環 ③3Dプリンタ

## 【医療】第6講演 「脂肪酸で見抜く！卵巣がん早期発見の新技術」

医学部 医学科 助教 加藤 侑希 氏

卵巣がんは早期発見が困難なために死亡率が非常に高いがん種です。我々は世界で初めて、数滴の血液に含まれる遊離脂肪酸濃度の変化を捉えることで、早期の卵巣がん患者を高精度に発見できる診断技術を開発しました。現在は、この技術の社会実装を目指していますが、郵送検査に対応するための血液採取キットの製品化などが課題となっています。

本講演では、我々の技術の秀でた特徴と企業連携の展望を紹介します。

■利用が期待される用途

- ①医療・診断デバイス開発（脂肪酸測定用血液採取キット） ②臨床検査事業 ③女性の健康管理（早期がん検診支援）

## 【創薬】第7講演 「様々なバイオ技術を効率化する！DNAの上をすべる機能性ペプチド」

文理学部 生命科学科 助教 地引 和也 氏

ヒトの遺伝子情報を記録したDNAは非常に長く、細胞の中の「核」と呼ばれる部屋に収納されています。私たちは最近、核の中に入る働きをもつ既知のペプチドが、DNAの上をすべるように移動することを発見しました。このペプチドを活用することで、DNAを標的とする薬の効果を高めたり、生体分子をより効率的にデザインしたりと、様々なバイオ技術をよりスマートに進められる可能性があります。

■利用が期待される用途

- ①医薬品・創薬分野 ②遺伝子工学分野 ③素材開発分野